

| | | | | |
|--------|----------------|----|-----------------|-----|
| 分野 | 福祉 | 施策 | 健康 | |
| 分野計画名称 | まちごと元気！健康せつつ21 | | 行政経営戦略 参照ページ | P85 |

| | | | | | | |
|-------------|-------------------|-------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|---------------|
| 施策の展開（大項目） | 1生活習慣病の早期発見・重症化予防 | | | | | |
| KPI (指標) | 健康寿命 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 増加 | 男性79.3年、女性83.6年 (平成30年) | 男性79.6年、女性83.5年 (令和元年) | — | | 平均寿命の伸びを上回る延伸 |
| KPI (指標) | 悪性新生物SMR（標準化死亡比） | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 減少 | 男性114.0、女性108.5 (平成25～29年) | — | — | | 100未満 |
| KPI (指標) | 脳血管疾患の標準化死亡比【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 減少 | 男性80.9、女性84.9 (平成25～29年) | — | — | | 現状値より減少 |
| KPI (指標) | 心疾患の標準化死亡比【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 減少 | 男性104.0、女性103.3 (平成25～29年) | — | — | | 100未満 |

| 中項目 | 1がん検診の推進 | 分野計画参照ページ | P37 |
|-----------------|--|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度の取組実績 | 分析・考察 | |
| がん検診事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の受診者を増やす取組として集団検診（保健センター）を次のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■セット健診（健康診査+がん検診）【午前73回、午後22回 ※うち、午前の土日は5回（午後の土日は実施なし）】 ■胃・大腸・肺がん・骨粗しょう症検診【16回 ※うち、土日は4回】 ■胃・大腸がんバスの検診【2回 ※うち、土日は1回】 ■乳がん検診【28回 ※うち、土日は4回、一時保育は6回】 ■子宮頸がん検診【13回 ※うち、土日は2回、一時保育は6回】 ・各種がん検診を実施し、受診率は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■胃がん 受診者数1,837人、受診率7.9%（前年度比+143人、+10.5%） ■大腸がん 受診者数2,917人、受診率12.6%（前年度比±0人、±0%） ■肺がん 受診者数3,605人、受診率15.6%（前年度比+407人、+12.7%） ■乳がん 受診者数1,451人、受診率18.4%（前年度比+210人、+16.9%） ■子宮頸がん 受診者数2,479人、受診率26.9%（前年度比+1人、+0.04%） ■前立腺がん 受診者数886人、受診率11.7%（前年度比+208人、+14.5%） | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のがん検診の受診率が低く、その要因の一つとして、実施場所が限定的であることが考えられるため、検診機会を拡充していくとともに、引き続き、ホームページや広報紙、健康づくり年間日程表等でごがん検診について周知していく必要がある。 | |

| 中項目 | 2特定健診・特定保健指導の推進 | 分野計画参照ページ | P38 |
|--------------------|--|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度の取組実績 | 分析・考察 | |
| 特定健康診査等事業 国保年金課 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診者数は3,676人（前年度比+522人）で、受診率は28%（前年度比+4.6%）であった。（内訳） <ul style="list-style-type: none"> ■保健センターでの集団健診 2,197人（前年度比+242人） ■医療機関での個別健診 1,076人（前年度比-26人） ■新鳥飼公民館での出張集団健診 149人 ■別府コミュニティセンターでの出張集団健診 115人 ■その他（職場健診データ提供・人間ドック）139人（前年度比+42人） ・特定保健指導については、対象者452人の内、232人（51.3%）に電話や面談等で指導した。（動機付支援164人・積極的支援68人） <p>※各数値は速報値（確定時期：11月）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率は、前年度比では増加しているが、新型コロナウイルス感染症蔓延前と比較すると減少しているため、受診率向上につながる取組等を検討していく必要がある。 ・出張集団健診は、一定のニーズがあるため、引き続き実施する方向で検討する。 ・特定保健指導の実施率は府内トップクラス（令和2年度法定報告：2位）であり、要因は面談（プレ指導）の実施等と考えられるため、引き続き実施率向上に向けた取組を進める。 | |
| 保健事業 国保年金課 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者9,690件架電し、286人の予約につなげた。 ・ナッジ理論に基づき、対象者の特性に合わせて行動変容を促す勧奨通知を2回（各5,000通）送付し、延べ5,853人のうち、2,128人の受診（36.4%）につなげた。 ・特定保健指導未利用者対策として、次の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■健診当日の面談（プレ指導）を実施し、174人が参加した。 ■健診後に健診結果説明会を30日開催し、114人が参加した。 ■面談（プレ指導）及び健診結果説明会の不参加者に随時、電話で利用を勧奨した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率は、前年度比では増加しているが、新型コロナウイルス感染症蔓延前と比較すると減少しているため、受診率向上につながる勧奨の取組等を検討していく必要がある。 ・特定保健指導の実施率は府内トップクラス（令和2年度法定報告：2位）であり、要因は面談（プレ指導）の実施等と考えられるため、引き続き実施率向上に向けた取組を進める。 | |

| 中項目 | 3循環器疾患対策の推進 | | 分野計画参照ページ | P39 |
|----------------------|---|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 健康せつつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の健診結果が受診勧奨値の方（58人）に対し、結果送付後、架電や文書の送付による早期受診勧奨を行った。 ・11月の健康づくり推進月間に合わせて、循環器疾患のリスク要因である「LDLコレステロール」についての啓発動画を配信し、視聴回数は2,072回であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者の基準に該当する場合は、生活習慣病の発症リスクが高くなる。集団健診受診者については、引き続き、保健福祉課及び保健センターの保健師・栄養士から受診勧奨等の保健指導を徹底し医療へつなげる必要がある。 | | |

| 中項目 | 4糖尿病対策、慢性腎臓病(CKD)対策の推進 | | 分野計画参照ページ | P41 |
|----------------------|--|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 健康せつつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・血糖高値の対象者に対し、電話による受診勧奨を行った。これにより未治療者26名のうち、医療への受診につながった者は4名であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病対策について、病院未受診者には、引き続き、健診後速やかに受診勧奨を行い、受診の状況を確認しながら、病院受診に至っていない場合は継続して支援する必要がある。 ・ハイリスクアプローチだけでなく、ポピュレーションアプローチにも取り組む必要がある。 | | |

| 分野 | 福祉 | 施策 | 健康 | |
|--------|----------------|----|-----------------|-----|
| 分野計画名称 | まちごと元気！健康せつつ21 | | 行政経営戦略 参照ページ | P85 |

| 施策の展開（大項目） | 2生活習慣の改善 | | | | | |
|-------------|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-----------------|
| KPI (指標) | 健康寿命 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 増加 | 男性79.3年、女性83.6年 (平成30年) | 男性79.6年、女性83.5年 (令和元年) | — | | 平均寿命の伸びを上回る延伸 |
| KPI (指標) | 悪性新生物SMR（標準化死亡比） | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 減少 | 男性114.0、女性108.5 (平成25～29年) | — | — | | 100未満 |
| KPI (指標) | 日常生活で歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 増加 | 男性60.2%、女性57.4% | 男性54.8%、女性58.9% | — | | 男性65.0%、女性62.0% |

| 中項目 | 1栄養・食生活 | | 分野計画参照ページ | P42 |
|----------------------|---|--|---|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 健康せつつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・食育の日（毎月19日）に、ホームページ「食育コラム」にて食育に関する情報を発信するとともに、広報紙においても、栄養・食生活に関する記事を掲載し市民に啓発を行った。 ・11月の健康づくり推進月間に合わせて、「LDLコレステロール」「オーラルフレイル」の栄養・食生活に関する動画を配信し、視聴回数は3,203回であった。 ・食育に関し、こども園や小中学校と連携し、「防災」や「感染症予防・免疫力向上」といったテーマに見合う共通食材を用いた給食を提供し食育に取り組んだ。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・視聴後のアンケートについて、435人に回答いただき、「病院の先生や管理栄養士さんなど専門家のお話が聞けて良かった、もっと色々な動画を見たい」や「動画はわかりやすく理解できた」等の回答が多かったため、引き続き、動画配信等コロナ禍でも可能な啓発を実施する。 ・栄養・食生活について、世代ごとに課題があることから、課題解決に向け適した情報発信やその方法を検討し、実施していく。 | |

| 中項目 | 2運動・身体活動、社会環境 | 分野計画参照ページ | P44 |
|------------------------------|--|---|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | |
| 健康せっつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりグループと「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発として、地域の高齢者が集うリハサロンで体操の実演を行った。 ホームページに体操の動画を公開するとともに、DVD・CDを保健福祉課窓口で85枚無料配布した。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍では、外出自粛等の理由で、高齢者の運動不足がうかがえる。高齢者が集う地域ごとで実施するリハサロンを活用し、引き続き、「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発を行うとともに、運動不足解消に取り組む必要がある。 | |
| まちごとフィットネスヘルシータウン事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発出されていない期間で、うきうきせっつウォーキングを3回（10月・11月・12月）開催し、（前年度比+3回）開催し、166人（前年度比+166人）が参加した。 歩くことでポイントを獲得し、参加賞や抽選での商品があたる健幸マイレージを実施し、新規参加（登録）者が475人（前年度比-18人）で、事業開始から合計2,821人の参加（登録）者となった。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、感染状況を踏まえながら、ウォーキングの推進に取り組む。 健幸マイレージの新規参加（登録）者は前年度より減少しているものの、それでも450人以上が新たに利用している。新規の中で、若い世代の利用が低いため、スマホアプリの利用ができることを周知し、新規獲得につなげる必要がある。また、多くの参加（登録）者がいるものの、この中でデータ送信がある時期から止まり、継続できていない者が多数いる。これらを復活させる取組においても検討する必要がある。 | |

| 中項目 | 3休養・睡眠 | 分野計画参照ページ | P45 |
|----------------------|---|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | |
| 健康せっつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページに、新たに休養や睡眠の必要性について掲載した。 11月の健康づくり推進月間に合わせて、睡眠に関する動画を配信し、視聴回数は1,270回であった。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、動画配信等により休養・睡眠の必要性について啓発していく必要がある。 | |

| 中項目 | 4こころの健康 | 分野計画参照ページ | P46 |
|----------------------|---|---|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | |
| 健康せっつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 9月の自殺予防週間と3月の自殺対策強化月間に、こころの健康に関する相談窓口を広報紙に掲載し周知した。また、コロナ禍におけるこころの健康に関するリーフレットを保健福祉課窓口等に設置し、相談窓口を周知した。 ■相談件数1件（前年度比-2件） | <ul style="list-style-type: none"> こころの健康については、引き続き、相談体制の確保をしたうえで、相談窓口の案内をホームページや広報紙にて周知・啓発していく必要がある。また、相談を受けた内容によっては保健所や医療機関へつなぐ必要があることから、引き続き、保健所と医療機関との連携に取り組む。 | |

| 中項目 | 5喫煙 | 分野計画参照ページ | P48 |
|----------------------|--|--|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | |
| 健康せっつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診や特定健診時、母子健康手帳交付時等において、喫煙者に対して禁煙外来の紹介や禁煙方法の助言等を行うとともに、「世界禁煙デー」や「禁煙週間」に合わせて広報紙やホームページにおいて、禁煙に関する記事を掲載し、周知啓発を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 現状の取組を継続して実施するとともに、禁煙を希望する市民に対して、引き続き情報提供等を実施する。 | |

| 中項目 | 6飲酒 | | 分野計画参照ページ | P49 |
|----------------------|--|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 健康せっつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・年3回（5月・11月・3月）、広報紙において、アルコールを含めた依存症に関する記事を掲載し相談窓口を周知した。 ■相談件数2件（前年度比+1件） | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適度な飲酒に関する情報発信を実施し、生活習慣病のリスクを高める飲酒の防止等を働きかける。 | | |

| 中項目 | 7歯と口の健康 | | 分野計画参照ページ | P50 |
|--------------------|--|--|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 歯科健康診査事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の市民を対象に成人歯科健診を実施し、2,829人（前年度比+145人）が受診した。また、受診が困難な高齢者を対象に訪問歯科健診を実施し、36人（前年度比-1人）が受診した。 ・健診未受診者に対して、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・11月の健康づくり推進月間に合わせて、歯科健診の周知を含むオールラウンドに関する動画を配信し、視聴回数は1,131回であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診の受診者のうち高齢者については、新型コロナウイルス感染症予防による外出自粛の影響で、受診者が伸び悩んでいるため、自治会回覧や高齢者イベントによる受診勧奨を検討していく必要がある。 | | |
| 乳幼児健康診査事業 出産育児課 | <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児歯科健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児歯科健診を実施し、それぞれ、98.4%（前年度比-1.1%）、87.4%（前年度比-7.1%）、95.0%（前年度比-4.3%）が受診した。 ・虫歯のない幼児（3歳児）の割合は89.3%（前年度比+0.5%）となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各歯科健診を実施するとともに受診勧奨を行う。 | | |

| 中項目 | 8母子保健 | | 分野計画参照ページ | P51 |
|-------------------|--|---|-----------|-----|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 母子健康診査事業 出産育児課 | <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査の受診券14回（12万円分）を妊娠届提出時に配付（778件）した。 ・妊婦歯科健診を実施し受診率は42.7%（前年度比+9.6%）であった。 ・乳幼児健康診査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■健診・受診率：4か月児健康診査 96.2%（前年度比+0.1%） 1歳6か月児健康診査 98.4%（前年度比-0.9%） 3歳6か月児健康診査 95.0%（前年度比-4.4%） ・未受診者に対し、個別通知や戸別訪問を行い、受診勧奨を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、乳幼児健康診査を実施するとともに、妊婦一般健康診査の受診券を配付する。 ・妊娠届出時に健診の必要性について、保健師もしくは助産師から説明するとともに、引き続き感染症対策を行い受診しやすい環境づくりに努める必要がある。 ・引き続き、受診勧奨を実施する。 | | |

| | | |
|------------------------------|---|--|
| <p>子育て世代包括支援事業 出産育児課</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・プレママサロン（※）を12回実施し、延べ109人（前年度比+22人）が参加した。 ・離乳食講習会および後期食講習会を18回実施し、延べ217人（前年度比+23人）が参加した。 ・生後4か月までの新生児662人（前年度比+2人）を対象に「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施した。 ・健康育児相談を保健センターにおいて12回実施し、延べ203人（前年度比+23人）が参加した。 ・母子健康手帳交付時に、保健師・助産師による全数面接（778件）を実施した。 ・産前産後ヘルパー制度の利用が20世帯（前年度比+14世帯）あった。 ・産後ケア制度の利用が、宿泊型11世帯（前年度比+5世帯）、デイサービス型2世帯（前年度比±0世帯）あった。 <p>（※）子を持つ親となる方を対象とした、母親の身体についてや、赤ちゃんについての講座</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・プレママサロンは、先輩ママパパや赤ちゃんと直接触れ合い、体験談に基づいたアドバイスが得られているため、引き続き実施する。 ・引き続き、助産師や保健師によるこんにちは赤ちゃん訪問及び全数面接を実施する。 ・離乳食・後期食講習会、健康育児相談等は、コロナ禍での運営手法を検討していく必要がある。 ・産前産後ヘルパーについては、令和4年度から利用者ニーズ等を踏まえ、派遣期間を拡充している。 ・産後ケア制度については、令和4年度から利用者ニーズ等を踏まえ、派遣期間を拡充するとともに、訪問型のケアを導入している ・両制度は開始して2年となるが、サービスを拡充していることも含めて、赤ちゃん訪問等の機を捉えて周知していく必要がある。 |
|------------------------------|---|--|

| 分野 | 福祉 | 施策 | 健康 | |
|--------|----------------|----|-----------------|-----|
| 分野計画名称 | まちごと元気！健康せつつ21 | | 行政経営戦略 参照ページ | P85 |

| 施策の展開（大項目） | 3健康・医療のまちづくり | | | | | |
|-------------|---------------|-------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|---------------|
| KPI (指標) | 健康寿命 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 増加 | 男性79.3年、女性83.6年 (平成30年) | 男性79.6年、女性83.5年 (令和元年) | — | | 平均寿命の伸びを上回る延伸 |
| KPI (指標) | 心疾患の標準化死亡率【★】 | | | | | |
| | 推移の方向性 | 基準値 | 令和2年度 結果 | 令和3年度 結果 | 令和4年度 結果 | 目標値(令和7年度) |
| | 減少 | 男性104.0、女性103.3 (平成25～29年) | — | — | | 100未満 |

| 中項目 | 1病診連携 | | 分野計画参照ページ | — |
|----------------------|--|--|---|---|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 健康せつつ21推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月の健康づくり推進月間に合わせて、国立循環器病研究センター等と作成した健康づくりに関連する動画を3本（LDLコレステロール、オーラルフレイル、睡眠）配信し、視聴回数は延べ4,473回であった。 ・済生会吹田病院との連携協定を締結し、健康づくりに対する施策として、11月に共催による市民公開講座を開催した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・視聴後のアンケートについて、435人に回答いただき、「病院の先生や管理栄養士さんなど専門家のお話が聞けて良かった、もっと色々な動画を見たい」や「動画はわかりやすく理解できた」等の回答が多かったため、引き続き、国循や健栄研といった健都を拠点にする医療機関の協力を得ながら、動画配信等コロナ禍でも可能な啓発を実施する。 ・済生会吹田病院との連携事業を保健福祉課だけでなく、その他の部署にまで展開することを検討していく。 | |

| 中項目 | 2地域医療の向上 | | 分野計画参照ページ | — |
|-----------------|---|--|--|---|
| 関連する主な事業 | 令和3年度 の取組実績 | | 分析・考察 | |
| 健都推進事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・産学官民連携プラットフォーム構築支援の取組みとして、企業やアカデミアと市民をつなぐ仕組みである「健都ヘルスサポーター制度」を構築した。 ・11月の健康づくり推進月間に合わせて、国立循環器病研究センターと作成したLDLコレステロールに関連する動画を配信し、視聴回数は2,072回であった。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・健都ヘルスサポーター制度の利用登録者の獲得に向け、摂津市・吹田市の両市のホームページに専用サイトを設ける等、市民に対して周知・啓発していく必要がある。 ・今後も、国立循環器病研究センターの医師と連携し、引き続き、循環器病をはじめとした疾病予防の啓発を行っていく必要がある。 | |

| 中項目 | 3感染症予防 | | 分野計画参照ページ | — |
|--------------------------|--|---|-----------|---|
| 関連する主な事業 | 令和3年度の取組実績 | 分析・考察 | | |
| 感染症予防事業 保健福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、風しん（5期）の予防接種事業を実施し、接種人数は次のとおりであった。 ■インフルエンザ12,603人（前年度比－2,566人） ■高齢者肺炎球菌601人（前年度比－44人） ■風しん（5期）50人（前年度比－137人） ・感染拡大状況に応じて、ホームページや広報紙で、新型コロナウイルス感染症の予防啓発を行った。 ・5月から1・2回目の新型コロナウイルスワクチン接種を開始し、約8割以上の市民が接種を完了した。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、12月からは3回目接種を開始した。また、小児の1・2回目の新型コロナウイルスワクチン接種も並行して開始した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、予防接種及び感染症の予防啓発を実施していく。 ・小児の1・2回目、大人の3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を継続して実施する必要がある。 | | |
| 予防接種管理事業 出産育児課 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1期MR（麻しん風しん混合）、第2期MR（麻しん風しん混合）ワクチンを接種し、接種率はそれぞれ99.3%（前年度比－0.4%）・99.7%（前年度比＋7.8%）であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種健診や講習会等で各予防接種の必要性を周知し、接種動員を行っていく必要がある。 | | |